

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3つの喜びとして「地域の皆様のごよこび・利用者の方のごよこび・暖談と縁のごよこび」を掲げて、職員が目にする場所に提示したり、折に触れて理念の確認をして共有し、心にとめ連絡を密にしながら理念に沿ったケアの実践に努めているが、一部の職員が理念に沿ったケアの実践につなげていない。			前年度同様、職員の自己評価がAでないのは、未だ理念を理解できていない職員がいるということが浮き彫りになった。年度初めの勉強会で今一度、理念の認識を深めていく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で例年通りのお祭りや年中行事などの地域との交流の場が激減し不十分ではあるが、個別に地域の社会資源(理髪店、訪問美容、開業医など)の活用を通して利用者様と地域とのつながりを続けている。	地域のコミュニティセンターのセンター長や自治会長、福祉委員、地域住民代表などが運営推進会議に参加しており、地域と関わりがなされている。新型コロナへの対応で日常的な交流は難しいと思われるが、引き続きできる限り地域とのかかわりが持てるような取組をお願いしたい。		長引くコロナ禍で地域との交流が難しいのが現状だが、中でも社会資源の活用など、できることを継続することで引き続き地域とのつながりを保っていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により今年度は顔を合わせた開催が1度しかできなかったが、書面会議に換えて2か月に1回、開催し、外部からの意見や評価をサービス向上に活かしている。施設での利用者様の暮らしぶりや各種委員会の取り組みなどをオープンにすることで運営推進会議参加対象者と情報交換し、現場へもフィードバックしてサービス向上につなげている。	コロナ禍で書面会議での取組が多かったが、資料を通して施設での暮らしぶりや施設での出来事について伝わってきている。運営推進会議で委員から出た意見を取り入れながら、サービスの改善に向けて取り組んでいる。		コロナ禍により今年度も書面会議での開催がほとんどだったが、利用者様やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や意見徴収を行い、いただいた意見をサービス向上に活かしてきたつもりではある。面会も緩和したので、次年度は、できるだけ対面で運営推進会議を開催し、よりよいサービス向上に努めたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が市役所へ出向いたり電話で実情を伝え相談し、意見やアドバイスをいただき、職員にも伝えることで協力関係を築くよう心がけている。	自己評価通りできている。		不明なことは市役所高齢者福祉課へ電話や直接出向いて相談したり、意見やアドバイスをいただいて適切な運営を心がけている。運営推進会議の場を活用しての外部評価も今回で2回目となるが、まだまだ至らない点も多いので、

							引き続き市役所担当者からご指導・ご鞭撻を賜り協力関係を築いていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員会で身体拘束について学習し、職員の意識向上を図り身体拘束しないケアに徹底して取り組んでいる。コロナ禍にあつてやむを得ず玄関は開錠できていないが、感染防止対策を十分に実施しながら、利用者様はいつでも外に出掛けることができる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	【外部評価結果】 A: 13/13 今年度は、運営推進会議の中で権利擁護委員会(身体拘束適正化のための検討委員会・高齢者虐待防止委員会)の報告を取り入れたことからか、すべての方の評価が「十分にできている」となっていた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は権利擁護推進員で法人内の権利擁護推進委員会の委員長を兼務しており、定期的に委員会を開催し、職員へも委員会報告することや、高齢者虐待についての勉強会を開催することで理解を深め虐待防止に徹している。職員も毎日の朝礼や月2回の職員会等で管理者から注意を促されており、虐待防止の意識を十分に持ってケアにあたっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	【外部評価結果】 A:12/13 未記入:1 1名未記入であったのは、何か不明な点があつたのことと思われるがコメントの記載がなく理由がわからない。次年度からは理由を記載していただき、改善点が見えるようにしていく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	権利擁護に関する研修は年間に最低2回は行っている。成年後見制度についても必要とする利用者様はいらっしゃるが、知識として勉強会を持ち必要時には活用できるように努めている。			【ご意見】「人権意識を高める研修の意義は大きいので継続してほしい」  成年後見制度を必要とする利用者様はいらっしゃるが、今年度も3月に職員会に於いてe-ラーニングにて知識として学ぶ機会を設けた。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時、利用者様と家族様に時間をかけて契約に関する説明をし、不安なことや疑問点に理解、納得をしていただき、書類も不備なく作成できている。また、介護度が上がった時や状態の変化に伴い、その都度、ご家族様とも話合っている。			契約の取り交わしは管理者が行っており、職員では不明なことからの自己評価結果だと考える。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族様への連絡は細やかにしており、面会時などにも意見や要望を聞いたり、運営推進会議の場などで意見を聞いたりし、いただいた要望や意見は職員間で共有して運営に反映させている。利用者様やご家族様の諸事情や想いは様々であり、それに対して職員も管理者も日々のコミュニケーションより聞き取り丁寧に対応するよう努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>【外部評価結果】 A:12/13 未記入:1</p> <p>高齢者虐待防止委員会の取り組みの一環で、ご家族様にアンケートを実施しているが、今年度実施したアンケート結果では運営に対する意見等はなかった。今後、意見をいただくことがあれば改めるべき点は改めるなど運営に反映させていく。</p>
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は小さなことでも言いやすい環境づくりに努め、職員1人1人のヒヤリングの機会を持ったり、職員会や朝礼などでも職員からの意見や提案などを聞くようにし、出た意見や提案は管理者から代表者に伝え反映させている。職員は、いつでも意見やアイデアを提案でき、それらを検討して実践することで質の高いケアが提供できるよう心掛けている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>【ご意見】「管理者と職員のコミュニケーションは良好だと感じている」</p> <p>自己評価の記載通り、管理者の職員へのヒヤリングの継続、職員会や朝礼時だけでなく、いつでも個別に相談に応じ意見や提案など聞き、聞いたことは役員会や代表者へ伝え反映させるよう継続して努めている。</p>
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は職員の勤務状況については管理者経由で把握している。都度、就業環境について相談できる環境を整え、人員不足の際もそれを補う対策を練り、職員が働きやすいよう環境整備に努めている。また、希望休や労働形態など都度、配慮して改善に努めているが、すべての職員が理解できているわけではない。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>【ご意見】「限られた職員数で希望に沿わない致し方ないことはあると思う」</p> <p>【外部評価結果】 A:4/13 B:8/13 ?:1/13</p> <p>今後、理解ができていない職員のヒヤリングに努め、何が不足しているのか意見を吸い上げ改善に努める。</p>
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	集合型に限らず Web 研修や eラーニングを活用して法人内外への研修会への参加に配慮したり、職場内での指導により個々のスキルを上げられるようにしている。また、1人1人の能力に応じ業務の内容を変更したりして対応している。資格取得にも前	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>【外部評価結果】A:10/13、 B: 3/13</p> <p>コロナ禍で外部研修会の機会は少ないが、リモートでの参加、eラーニングを活用し、できるだけ自己研鑽できる機会を平等に設けている。また、事業所独自のキャリアパスに基づき資格取得を推奨し、取得できる配慮をしている</p>

				向きで働きながら取得できるよう配慮している。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で同業者との交流する機会が激減したが、各種研修会で同業者と情報交換できる機会を作るようにしている。管理者がネット会議などの情報を職員に発信することで同業者の活動や勉強会情報は職員周知できている。			コロナ禍で同業者との交流する機会が得られないが、リモート参加の研修会等で情報交換できるよう引き続き努めていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様にできることは、できるだけしていただいて役割を持って生活していただいている。職員は入居者に敬意をはらって、よく会話をし、できるだけ入居者に寄り添い、入居者様同士の交流を深めたり支え合う関係づくりを築くよう努めているが、入居者様のその日の体調や変化によっては、できていない時もある。			入居者様の高齢化と介護度の重度化に伴い、介護される一方の立場に置かれている方がいらっしゃるの、充分にできているとは言えなくても、できるだけ入居者様同士の交流を深めたり支え合う関係づくりを築く努力を継続する。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出や部外者との接触ができなくなっているが、手紙や電話の取次は自由にしていただいたり、テレビ電話を活用して継続的な交流が途切れないような支援に努めている。利用者様それぞれの住所地のなじみの近辺への外出などしたり、コロナ感染防止対策の上、面会も制限を設けて緩和し、従来の人間関係が断ち切られないよう取り組んでいる。	コロナ禍で外出時の食事会などは自粛しているが、ドライブで降車せずに海を眺めるなど工夫しながら馴染みの場所への外出支援を行っている。また、面会も制限はあるが、従来の関係性が継続できるよう配慮されている。		3月から時間を決めて別室で人数制限をかけ、マスク着用、飲食厳禁にて面会を再開し、馴染みの方との関係が途切れないよう努めている。 今後も感染対策を十分に施しながら近隣周辺への外出や、馴染みの場所などへ送迎・付き添いして積極的に支援していきたい。
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知機能の低下により、すべての入居者様からの思いや意向確認は難しいが、できるだけ傾聴に努め、日々のコミュニケーションの中で利用者様の思いや意見、ご希望を把握し言語化できるように努めている。把握が困難な場合は、ご家族様から情報を得、ご本人様にとって最良の暮			【ご意見】「入居者の相性に配慮し対応してもらっている」  できるだけ傾聴し、入居者様の思いを汲むよう努めているが、認知症の進行具合によって、すべての方が表現できるわけではなく、充分把握はできていない。そのため、ご家族様と話し合って、で

				らし方をご家族を交えて検討している。職員も、それぞれの利用者様の背景や個性を理解して、想いやしたいことなどを汲み取り、自由に過ごせるよう寄り添っている。			きるだけ入居者様ご自身が望まれる暮らし方や生活環境、1日の過ごし方や意向を継続して把握していくよう努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>毎月のモニタリングで職員が、それぞれの視点から意見やケアの在り方について情報交換を行い、サービス内容を確認・検討し、状態に合わせたケアができるよう介護計画を作成して、担当者会議に参加いただいたご本人様やご家族様の想いや意見を反映させ、職員全員で共有している。必要時には管理者を中心として、ご家族様や医師の意向を確認し、変化に応じて適宜見直しして、ケアのあり方を変更している。</p>	職員同士で情報交換を行い、ヒヤリハットも報告し合うことができている。本人や家族からの想いを反映し、時には医師の意向も確認のうえケアの在り方を見直している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>【外部評価結果】A:12/13 未記入:1</p> <p>【ご意見】 「報告もきちんとしてくださるので安心です」</p> <p>Q:「介護計画の期間は？」 A:1か月</p> <p>Q:「見直しは？」 A:モニタリングごとの見直しのため1か月ごと A:4、B:9</p> <p>モニタリング結果とモニタリングを反映させた介護計画を全職員が回覧にて把握している。</p>
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各個々の現場の介護計画を作成し、ケアの実践をチェック表に記載している。また、ケア記録や業務日誌の申し送りや情報などを職員で共有し、それを基に介護計画の見直し、評価を実施しているが、すべての職員が業務日誌や各種報告書等の情報を共有・理解できているわけではない。	<p>すべての職員が業務日誌や各種報告書等の情報を共有・理解することはとても大事な事である。全職員が共有・理解できるよう回覧するなど環境を整えてあるのに共有・理解ができないのは盲目判を押す個々の性格の問題が大きいと言える</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>【外部評価結果】A5/13、B:8/13</p> <p>【ご意見】 「都度の声かけで改善を促す」 「必要な業務ではあるが、多忙でもあるので記録方法・内容を見直す必要もあるのでは？」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>業務日誌、回覧に加えて縁全職員のグループラインでも周知・情報共有するようにした</p> <p>介護計画に基づき居室担当者を中心に日々のケアの実践や介護計画の見直し</p>

							しをしているが、一部の職員が回覧物にきちんと目を通していなかったり理解できておらず、繰り返し説明していく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様、ご家族様の状況・変化に応じて必要な支援(訪問美容の活用、医療機関の往診、受診、送迎など)には柔軟に対応している。	コロナ等で家族が対応できない時の受診同行など利用者の状況に応じて柔軟に対応している。		職員の人数にもよるが、今後も、ご本人様やご家族様のニーズには、できるだけ柔軟に対応していく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で充分とはいえないが、運営推進会議に行政、地元のコミュニティセンターや広域交番、福祉委員、自治会長に参加いただき、入居者様が安心して地域での暮らしができるよう意見交換する機会を設けて協働できるようにしている。	運営推進会議を通じて、自治会長やコミュニティセンター、広域交番等と顔の見えるかわりを持っている。		運営推進会議を通じて、今後も継続して入居者様が安心して地域での暮らしができるよう支援していく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で受診から往診に切り替えて、施設都合ではなく入居者様に合わせて診てもらっている。やむを得ず受診が必要な時は、ご家族様に同行していただいているが、認知症の専門医だけでなく、眼科、皮膚科、歯科、耳鼻科のそれぞれのかかりつけ医まで把握し、かかりつけ医との関係も断ち切られることのないよう適切な医療が受けられるよう柔軟に対応している。			内科は協力医に定期的に往診してもらっている。車いすで受診が必要な方は、同意書を必要とする総合病院以外への受診の支援をしており、今後もご家族様と相談しながら継続支援していく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者・ケアマネを中心に入院時には速やかに、ご本人様の情報提供を行い、入院後は、ご家族様と密に連絡をとりあい、退院前には医師、看護師より状況説明を受け、地域連携室と連携して早期退院につなげ、都度、職員にも情報共有して円滑に入居者様を受け入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価結果】 A:11/13 B:1/13 未記入:1/13 入院時の医療機関への情報提供、退院後のケアプランの提出を速やかに行い、退院前には地域連携室と連携して引き続き早期退院につなげる支援を行っていく。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に看取りについて、ご家族様には説明し、ご本人様やご家族様のご意向を伺っている。実際に重度化された場合には、ご家族様と医師と、よく話し合い、事業所としてできることを説明し方針を共有している。開所後3年半の間に職員に看取りの勉強会を持ち、何度も話し合いの場を重ねて2件の看取りを実施した。職員に看護職員を複数人配置し、かかりつけ医、協力医などとの連携に努めている。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<b>【外部評価】</b> A:11/13 B:1/13 未記入:1/13 介護度が重度化された時には、都度、事業所でできることを説明し、今後の在り方について話し合いをしている。また、入居者様が高齢化され、様子を見ながら折に触れて看取りや終末期の在り方について、ご家族様と話し合い、引き続き協力医との連携を努めていく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で例年、行う救命救急の講習に参加できていないが、職員会の場で事故防止や緊急時の対応等についての勉強会や訓練を行い、入居者様の急変や事故発生時に対応できるようそなえているが、すべての職員が身につけているわけではない。	/	/	今年度も緊急時の対応については職場内研修を行った。看取りの方もいらっしゃるため看取りケアの勉強会も行った。コロナ禍で実践訓練ができなため、動画を用いた研修で補っている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で消防立ち合い下での避難訓練はできていないが、法人内や各部署で地震と火災、夜間想定での避難訓練を年2回以上実施している。洪水時の避難訓練はBCPの確認・見直しと併せて机上訓練や図上訓練、情報伝達訓練、避難経路の確認訓練などのシュミレーションを行っている。持ち出し品の確認訓練として、洪水時の非常時用の食料や飲料水、備品を詰め込んだ持ち出し用リュックやポータブルトイレ等の準備品の確認をしている。地域の消防団分団に避難時の手助けをお願いするなど住民の協力体制の構築に努めている。	避難訓練を年2回実施され、BCPの確認見直し等も行っている。引き続き、災害対策に勤めていただきたい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<b>【外部評価】</b> A:5/13 B:7/13 未記入:1/13 実際の有事の際に速やかに避難できるかは不安ではあるが、有事に備えてできるだけのことをして備えておく。 地域との協力体制構築が滞っているので進展させていく

**Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間を通して研修や職員会、勉強会などで研鑽を積み尊厳の保持を理解し、人生の先輩として尊敬の念を持ち、1人1人の人格を尊重し、プライバシーを損ねないよう対応にあたっている。利用者様の個々の認知症の特性を理解して親身な態度と、その場に応じた言葉遣いで優しく接するよう努めているが、できている時ばかりではなく常に振り返りを要する。	/	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価】A:4/13、 B:9/13 権利擁護の観点からのケアの見直しは多々行っているが、職員全員が尊厳を尊重したケアが完璧にできているわけではない。定期的な不適切ケアアンケートの調査を継続実施し、職員の権利擁護の意識向上をはかり虐待の芽となる不適切ケアをなくしていくよう引き続き努めていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人のペースや想いを大切にしよう心がけて支援している。認知機能の低下により、ご本人様の希望に添えているかはわからないが、洗濯の場面を増やすなど1人1人の体調や状況に配慮しながら、ご本人様の希望に添える支援ができるよう努めている。	/	/	パーソン・センタード・ケアを常日頃、心がけるよう努めているが、とかくスタッフ・センタード・ケアになっている場面がある。定期的な不適切ケアアンケートを実施することで、職員1人1人が日ごろのケアを振り返り、自分中心ではなく入居者様のことを第1に考えてケアする意識を持つ機会を継続して設けていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍と入居者様の認知機能と身体機能の低下で一緒に準備をすることは難しいが、法人内の管理栄養士がバランスのよい栄養価だけでなく、旬の食材を生かしながらも食感も柔らかく、彩りもよい創作料理を献立し、食べやすいよう職員が個々に形態をかえて提供することで入居者様は食事を楽しみにされている。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>食事にこだわらずフードレクをおやつに取り入れたり、目の前で作る場所を見ることができると食事を楽しむことの支援としてできると評価しても良い。</p> </div>	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価】 A:5/13 B:5/13 C:3/13 自己評価に対して外部評価にAとBを同数評価いただいたので間をとってBと評価する 【ご意見】 「ごはんがおいしいと本人が喜んで話します。」 「行事食なども写真で見せてもらいますが、本当においしそうで嬉しいです。」 一緒に食事づくりをしていただく機会はないが、フードレクを取り入れたりして食事を楽しんでいただけるよう継続支援していく。



29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事は管理栄養士がカロリーやバランスを考えメニューを工夫している。食形態も1人1人に応じて刻みや1口大などにしている。水分摂取は不足しないよう声がけしたり、飲用だけでなく摂取しやすいようにゼリーを作って提供したりしている。体重、食事や水分の摂取状況を職員間で情報共有して把握し適切な量の摂取ができるよう努めている。			法人内の管理栄養士が栄養バランスを考えてメニュー作成しており、塩分や水分制限、摂食・嚥下障害のある方の食事については相談をしている。 モニタリングを通じて1人1人に応じた食形態での食事の提供や体重に考慮した適切な栄養摂取や水分確保の支援の在り方を引き続き職員間で検討していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は勉強会を通じて口腔ケアの大切さを理解しており、昼食前には毎日、口腔体操を行い、毎食後1人1人に応じた口腔清掃グッズや洗口液を用いて、必要な方には磨き残のないよう職員が介助し舌磨きもして保清できている。歯科衛生士が口腔健康管理を行い、毎食後の義歯の清掃に加えて、毎月、定期的に超音波洗浄機で義歯洗浄もしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<b>【外部評価結果】</b> A:11/13 B:1/13 未記入:1/13 作年度、口腔ケアが義務付けられる以前から歯科衛生士による口腔健康管理を実施しており、職員の口腔ケアの知識とスキルの高さは継続できている。現状維持に努める。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホールで過ごされている時は共同トイレへ、居室で過ごされている時は各居室の個室トイレで、入居者様の個別の排泄パターンに即して個々の持てる力を損なうことのないよう支援している。トイレの訴えがあれば速やかに対応し、日中と夜間、1人1人個々に適したパットを使用している。自然排便を心がけ、排便パターンを掌握しチームケアで便秘対策に努め排便コントロールしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<b>【外部評価結果】</b> A:11/13 B:1/13 未記入:1/13 1人1人に応じた排泄支援はできている。毎朝、朝礼時での排泄確認と、その日その日に応じた排泄支援の確認を継続し、モニタリングを通じて1人1人の排便コントロールの在り方を全職員で検討している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知機能の低下で自らの入浴希望はないが、気が向かない時やバイタル状態によっては無理強いせず、個々に応じて柔軟な対応にて個室浴を楽しむことができる。1人1人が気持ちよく安全に入浴できるよう声がけし、環境を整え支援している。			その日の状況に応じて無理強いせず、楽しく入浴できるタイミングをはかっている。看取りの方にも安全に気持ちよく入浴していただける環境を整える支援を継続していく。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の生活習慣を把握し、こた つやソファなどを利用して、それぞ れに応じた休息支援をしている。日 中は、できるだけ身体を使った活 動に取り組み、夕方からは良眠に 向けて眠剤に、できるだけ頼らな いよう穏やかで安定した時間を過 ごしていただいている。その日の 入居者様の状態に臨機応変に対 応し、安心して眠っていただけ るよう努めている。			夜間、休んでいただくことで心 身の健全をはかり、日中の生活 リズムを整える支援をしている。 日中も無理なく、ご本人様の 気分に応じて自由に休息して いただいている。できるだけ薬 に頼らず安眠できるよう日中の アクティビティの提供や睡眠を 妨げない環境整備を引き続き 心がけていく。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	配薬する薬局薬剤師、医師と連 携を図って服薬支援している。服 薬前後は職員2名で日付、氏名 、服薬時間、残薬の有無を確認 し、飲みこぼしを防ぐためにカ ップを使用して内服していただ いている。薬が変わったときは 全職員にわかるよう周知する が、すべての職員が効能から副 作用まで把握できているわけ ではない。体調に変化があった 時には随時、情報共有し医師 に相談をかける。		A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価結果】A:6/13、B:7/13 入居者様の日々の観察を怠ら ず、状態の変化に応じて医師、 薬剤師に相談し状態に合わせ た処方をしてもらっている。今 年度、事故が起きないように 服薬マニュアルを作成したが、 介助時の慎重な確認を怠らな いよう服薬支援に努める。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	残存能力を活かして1人1人の、 好きなことや得意なこと(洗濯 、塗り絵、ハサミを使った作 業、歌を歌うなど)への支援に 取り組んだり、Zoomレクを取 り入れるなどの気分転換も図 ったりして工夫している。また 、役割を通して、ご本人様の 気持ちを高め、やりがいや喜 びを感じてもらえるように支 援できている。お茶菓子など は選択の場面を設けるなどして 日々の楽しみになっている。	洗濯を干す、畳む等利用者1人 1人が役割を持って生活がで きるよう支援がなされている。 また、毎月季節に応じた壁に 貼る作品の作成などを通じて 、達成感ややりがいを得られ るよう取り組んでいる。	入居者様の高齢化や介護度の 重度化により、できることが 限られている中で、できること や手続き記憶などを活かして 1人1人に応じた役割や楽しみ ごとを見つけ提供している。 毎月の壁絵は、すべての方が 何らかの関わりを持って作成 できるよう職員が支援しており 、個別に作成されたものは掲 示後、居室に飾っている。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるよう支援 している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で以前のような外出・ 外食はできていないが、車から 降りないドライブ、人のいない 公園などへ出かけてティー タイムを設けるなど、4月から 11月までの暖かい時期は毎月 、外出できる機会を作り、施 設内	コロナ禍で外出時の食事会など は自粛しているが、ドライブで 降車せずに海を眺めるなど工 夫しながら馴染みの場所への 外出支援を行っている。引き 続き感染対策を取りながら、 できる範囲で日常的な外出支 援をお願いしたい。	コロナ禍で降車しないドライブ や、無人の場所でティータイ ムを持つなどの外出支援を 継続して行っていく。 天候の良い日は近隣への散歩 や、ご自宅への外出、お墓参 りなど、できるだ	

				に閉じこもらないように心がけている。コロナ禍にあつて、ホーム内での活動が多くなっているが、季節を感じられるようなタイミングでドライブするなど気分転換を図っている。			け戸外へ出かけられるよう支援に努めていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知機能の低下により入居前から家族管理で、ご自分での金銭管理ができないため、ご家族様の了解と依頼の下、職員がお小遣いとして管理させていただいている。コロナ禍以前は買い物外出をしていたが外出自体できないため、必要時は職員が代行して買い物をしている。	本人が直接、買い物ができなくても、要望をご家族に伝え買って来ていただいたり、職員が預かっているお小遣いから買わせていただくことで支援はできているが良い。		認知機能の低下により、ご自分で金銭管理できる方がいない。ご家族様からお預かりしているお小遣いで、ご家族様に了解を得て必要な物は購入させていただいており、引き続き職員が管理を行う。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話の所持、利用は自由にしていただいている。認知機能の低下から、ご家族様へ電話をかけられる希望はない。手紙は、ご本人様に手渡ししている。コロナ禍で面会制限しており、テレビ電話などのツールを活用し、離れていても顔が見られるなどの支援をしている。			希望される時は電話をかけたっており、届いた手紙類は、ご本人様にお渡ししている。自分でかけることができる方は自由に携帯電話を使用してもらっている。手紙が読めない方には居室担当者が代わりに読むなどの支援をしており、引き続き継続支援していく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールには北南にガラス窓があり、季節の風景が眺められる。玄関、廊下、ホールには絵画や季節に応じた花を飾ったり、月ごとに入居者様と一緒に作成した壁画を飾ったりしている。季節行事に応じては七夕飾りや、ひな人形、クリスマスツリーなどを飾って愛でいただいている。ホールは、北南にガラス窓があり、季節の風景が眺められ、皆が集えるホールに加えて廊下の端に設えたミニコーナーで、1人あるいは2人でなど過ごしていただける。ホール内は転倒などのないよう動線の確保をしたり、入居者様の状態に応じた席順などの工夫を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価結果】 A:8/13 B:4/13 未記入:1 【ご意見】 「訪問する機会は少ないが明るい雰囲気を感じます」  共用のホールでの席順は、入居者様同士の相性を考え、気の合った方と同席にし居心地のよい場になるよう工夫している。日によって気分も異なるため、トラブルを招きそうな気配がある時は臨機応変に席替えしたり、落ち着いて過ごせる廊下のソファに誘導して双方が不快な想いをされないような工夫をしている。

							毎月、季節を感じていただけるような壁絵作りを引き続き入居者様と一緒に 行っていく。 また、共用スペースは転倒などないよ う動線の確保に気を払い、安全かつ歩 行器や車いすで移動できるような環境 整備に努めていく。
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が、ご本人様の想いを傾聴し、全職員で共有することで願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができるよう支援している。			入居者様が、ご自分の想いを口にされることはなく、認知機能の低下で表現もできない中で、職員が傾聴に努め、今後 もできるだけ入居者様の意向に沿える ようにしていく。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をご家族様や、認知機能の低下で充分ではないが、ご本人様からも伺い、その情報を職員間で共有してケア・支援を行っている。			引き続き傾聴に努め、できるだけ、ご本人様の生活歴や友人関係、暮らしの習慣や特徴などさまざまな情報を引き出し、ご家族様からも情報を伺い職員で共有してケアを行っていくようにする。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間の話し合いや情報共有により健康面・医療面・安全面・環境面について、その日その日の状況に応じて都度、対応を行うよう努めている。入居者様1人1人に応じた関わり方ができている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価】 A:6/13、B:7/13 ご本人様の意向はわからないが、職員は毎朝、朝礼で情報交換し、その日の状況に於応じたケア・支援を行うように努めており引き続き継続していく。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お1人お1人、その日の様子、状態に波はあるが、職員が、ご本人様の体調を考えてペースを大事にし、これまでの暮らしの習慣を尊重した対応をしている。			入居者様のペースを心がけているが、とかく職員のペースに合わせてしまっていることがありがちなので、ご本人様のこれまでの暮らしの習慣にあったペースを大事にしていくよう引き続き心掛けていく。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	布団や枕など以前から使っておられたものを使用いただいている。自室への持ち込み品への制限はなく、ご本人様の大事にされているものや、なじみの物、好きな物や思い出の写真や届いた手紙など目のつくところ		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価結果】 A:13/13 【ご意見】 「ラジオ体操の継続、ありがとうございます。」  居室に置く者は、できるだけ、ご本人様のなじみのものや大切にされている

				ころに置いて安心感を持ってもらっている。			物を持って来ていただくよう、ご家族様 にお願いしており、ラジオを持って来て 入居前の習慣だったラジオ体操を継続 している方もいらっしゃる。 写真や手紙などは壁に掲示するよう にしており、今後も同様に対応していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、 戸外に出かけることや、催(祭)事に 参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でできにくくなっている。コロ ナ禍以前は十分にできていた。	コロナ禍のために以前と比べるとできにく なっているが、ドライブ外出等により外出 の機会を作るようにしている。 これから本人の住んでいた地域でポツポ ツ参加できると良い。		感染対策に留意し、降車なしのドラ イブや無人の場所での降車による気分 転換をはかっていく。 また、全入居者様が参加できる施設内 での季節ごとの行事イベントを充実させ るなど、できることを継続実施していく。
46		本人は、自分ができること・できない こと、わかること・わからないことを踏 まえた、役割や、楽しみごとを行うこと ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アクティビティの提供時や家事など 得意、不得意なことを考慮し提供し ている。ADL や認知機能の低下はある が、それなりに自分から積極的に 周りに協力しようとされる意思が見ら れ、職員も残存能力を活かした役割 やたのしみごとを行っていただくこと で、入居者様に満足感を感じてもら えるよう努めている。			今後も入居者様1人1人のできるこ と、できないこと、わかること、わから ないことを職員が見極め、残存能力を活 かした役割や楽しみごとを引き続き提供 していく。
47	本人が持つ力の 活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前・午後のお茶時や、1日の生活 の中で傾聴に努めている。隣席の方 との会話を楽しまれている方もいらっ しゃる。毎日のルーティン(体操、レ ク、家事、手作業)の中で、それぞれ の得意分野があり、場面場面で、い きいきとした表情が見られる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価結果】 A:3/13、B:10/13 ご本人様が、いきいきと過ごされるひと 時や活動場面を日々の暮らしの中で得 られているかは定かではないが、職員 がそう感じた瞬間や場面を職員間で情 報共有し、今後も、できるだけそのよう な場面を作るよう努めていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でできていなかったり、 ADL や認知機能の低下によりできな くなっている中で、訪問美容や開業 医、小中学生のダンスパフォーマンス ボランティアに来てもらうことで関り を持つことはできている。	コロナ禍で以前のような地域との交流の 機会は減っていると思われるが、できる 限りかわりをもっている。		コロナ禍で地域や近隣との関りが ない中、地域の理髪店や訪問美容の利 用、開業医の先生のお往診や受診、ボラ ンティアの訪問という形での関りが途切 れないよう引き続き努めていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH で安心・安全な共同生活を送ら れることで、他の入居者様や職員と 関わり、親しみを持たれ日々笑顔が 見られる。コロナ禍で取り組めていな	利用者及びその家族へ寄り添った対応 を行っている。コロナ禍でも感染症対策 に十分に配慮しながら、イベントの開催	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【外部評価結果】A:5/13、B:8/13 【ご意見】

				<p>いこともあるが、できる範囲内で、できることをして、日々穏やかに過ごしていただけるよう努めている。</p>	<p>やドライブ外出など利用者の楽しみや生きがいの場を提供されている。 一般的に昨年度の外部評価で出た意見が反映されている。</p>	<p>「本人の表情が、とても穏やかになりました。記憶がなくなることの不安や混乱がなくなり安心してきているのが伝わります。感謝しています。」</p> <p>ご本人様ご自身の想いはわからないが、職員は安心・安全で笑顔で穏やかに暮らしていただけるグループホームづくりを心がけている。その理念に基づいた姿勢を崩すことなく職員が東一したケアを提供し、入居者様によりよい日々を送っていただけるグループホームにしていくよう努めていく。</p>
--	--	--	--	---	--	--